

服薬中の授乳婦における実態調査と薬学的介入に関する情報公開

1. 研究の対象

平成 28 年 10 月 1 日から平成 29 年 9 月 30 日までに当院産科にて診療を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

母乳には豊富な栄養が含まれており、また赤ちゃんの免疫機能を高めるなどのメリットがあるため、出産後は母乳での育児を希望される方は多いです。ただ、お母さん自身の疾患の治療のため薬の服用が必要な場合、その薬が赤ちゃんに与える影響への不安から、薬の服用に抵抗を感じる方も少なくありません。

そこで、どれぐらいの方が母乳育児を希望しているのか、どのような薬を服用している場合に不安が大きいのかなど、妊婦さんや産後のお母さんの母乳育児に関する希望とその実態をカルテ上のデータを利用して調査することがこの研究の目的です。この研究の研究期間は、実施承認日から平成 30 年 11 月 30 日を予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、出産歴、既往歴、使用薬剤 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合にはデータ収集以前であれば研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。データ収集後は個人が特定できないためデータ削除はできません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 薬剤部 井上由佳梨

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話 052-741-2111

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 薬剤部 山田清文